



岩手県ボランティア団体連絡協議会 新会長に聞く 求められる「有用力」「専門力」「提言力」

本会は県内35市町村
のボランティア団体・

個人が会員です。団体間の情報交換
及び連絡調整、調査研究・研修、行
政・他機関との連携などを主事業と
しています。新会長に就任しました
が総会前で事業計画策定などはこれ
からのため、私が考えるボランティ
アの総論（持論）を話します。

ご存知のとおりボランティアの定
義は▽自発（自主）制▽無償（無
給）性▽利他（社会・公共・公益）
性▽先駆（先見・創造・開拓）性の
4つを柱としています。

東日本大震災では全国・県内から
何万人ものボランティアが被災地に
駆けつけ、様々な活動を展開しまし
た。自発的で多様な活動は、新たな
活動を展開する先駆性を生み出し、
被災者・被災地の個々のニーズに対
応する個別性や俊敏に対応する機動
性も生み出しました。

私は長年、企業人の一人としてボ



岩手県ボランティア団体連絡協議会

加藤隆男 会長

岩手県社会福祉協議会理事
NPO法人岩手ボランティア
育成会理事長

それぞれの専門性や技能を生かしあう

ランティア活動に携わってきた立場
から、今ボランティアに求められて
いるのは、「有用力」「専門力」「提
言力」の3つの力ととらえていま
す。「する側」と「受ける側」双方
の理解と共感を生み出すためには、
生半可なことではできません。世の中
を動かすこともできません。

まず、ボランティアとは生活に根
付いた人や社会に役立つ、つまり
「有用力」ある活動であることを認
識し、さらにボランティアとしての
思考力やレベルアップを図るには、
防災でも教育でも介護や国際交流で
も、自分の得意とする分野の「専門
力」を高めていくことです。そして
行政や自治体がプログラムした活動
を行うだけでなく、自発的な活動を
通して行政への「提言力」を持つこ
とです。

それらを身につけて本場に役立つ
存在となるには▽自らボランティア
として現場に足を運び、自分や組織
の活動を検証する力を養うこと▽徹
底して課題や問題を考え抜くこと▽
毎日、本や資料を読み思考すること。

NPO法人岩手ボランティア育成
会活動の一環として、私塾「フロム
ワン」を年数回開催し、福祉関係
者に社会福祉以外の能力の裾野を
広げる人づくりにも力を注いでい
ます。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

全国180万人
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン	…	300円	Bプラン	…	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン	…	460円	Bプラン	…	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
(引受幹事保険会社)日本興亜損害保険株式会社